

福祉だより

上豊富地区
福祉推進協議会
R2年7月発行

ごあいさつ

上豊富福祉推進協議会会長

足立

地域の皆様には日頃より、上豊富福祉推進協議会活動にご理解とご協力をいただきまして厚く御礼申し上げます。私この度、上豊富自治会長運営協議会会長という大役を仰せつかり、さらに福祉協議会会長という職務をも兼ねることとなり、改めて責任の重大さを痛感しております。皆様のご支援、ご協力を賜りまして、精いっぱい努めさせていただく所存でございますので宜しくお願ひ申し上げます。

さて、本年は新型コロナウイルス感染から始まり、国から非常事態宣言が発出され、先の見通しが見えない状況ではありましたが、五月二十一日に宣言が解除されました。しかし、「新しい日常」の始まりと言われ、感染拡大以前の生活が出来なくなりました。その様な中、本活動も「三密」を自粛したなかで、会議も開けていないのが現状です。本活動においては、寄り添い、支え合い、世代分野を超えた交流を通じての『つながり』で地域の皆様と絆を深め住みよい地域を願います。

まだまだ油断できない状況ですが、状況が改善して活動出来る様になりましたら、皆様のご協力によるしくお願いいたします。

最後に、日頃から地域における福祉活動の中心となって活動いただいております、民生児童委員、主任児童委員の皆様へ感謝を申し上げますとともに、本会の活動に地域の皆様のご協力とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス

感染症対策と熱中症対策

ゆう薬局 古田

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が解除され、ようやく元の生活を取り戻しつつあると思います。しかし第二波へ備えて油断は禁物です。新型コロナウイルスの感染経路の中心は「飛沫」および「接触感染」です。感染症対策の基本は、「手洗い」と「マスク着用を含む咳エチケット」です。また「三密（密閉・密集・密接）」を避けた行動」が大切です。

石鹸での手洗いやアルコールによる消毒、外出時のマスク着用、人と人との距離を取るなど、改めて意識していきましょう。

一方で、感染症対策ばかりに気が行きがちですが、本格的な夏に向け熱中症にも注意が必要です。春先からの外出自粛により、体が暑さに慣れる準備

ができておらず、運動不足で水分貯留の役割のある筋肉が減り、脱水症状になりやすくなります。またマスク着用で口の中が湿ると、喉の渴きを感じにくくなり、自覚のないまま脱水症状が進む恐れがあります。熱中症予防として、喉が渴く前にこまめに水分摂取をし、屋内では湿度が高くないならぬようこまめに換気し、冷房も我慢せずに使おうにしましょう。

対策をしっかりと行い、大変な時期を共に乗り越えましょう。



令和2年度の活動について

民生児童委員 上豊富地区部長

西村

上豊富地区の皆様には日頃から民生児童委員・主任児童委員の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、令和2年度の活動に取り組んでいく予定で準備を進めておりましたところ、コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、年度当初に予定しておりました総会や講座・研修の開催を自粛させていただきました。また、それぞれのご家庭へ

の訪問活動についてもできるだけ接触・面談の機会を少なくし、三月に予定していました一人暮らし高齢者宅の「防火訪問」は中止させていただきました、「こんにちは赤ちゃん訪問」も感染防止の観点から延期させていただいておりますが六月から再開の運びとなりました。

そんな中、国の緊急事態宣言も解除され、今後は「コロナと共生する社会」「新しい生活様式」による日常生活が求められています。先月から小・中学校の登校時の見守り・挨拶活動も再開され、「福祉だより」の発行・配布事業も今年度は計三回の発行を予定しております。

推進協総会はやむ無く中止いたしましたでしたが、上豊富地区福祉推進協議会計画事業であります八月の「福祉研修会」や十一月八日に予定しております恒例の「ふれあい餅つき大会」の開催など、十分な対策を講じた上で実施したいと考えておりますので、活動に対してご理解とご協力をお願いいたします。

こんな活動をしています

民生児童委員 大槻

民生児童委員・主任児童委員は地域の皆さんの交流の輪と絆を深め、安心して生活できる地域づくりを進めようと各種事業活動に取り組んでいます。

少子高齢化や核家族化など地域を取り巻く環境は大きく変化しています。上豊富地域の年齢層別人口を表にまとめました。

高齢化率（六五歳以上）の平均値は三三・三パーセントになり十一地区で平均値を超え、茅ノ台を除く十二地区では四四・六パーセントの高い数値になっています。なお、元年度は、上豊富地区で三人の赤ちゃんが誕生されております。

また、主な活動として八月の福祉研修講座においては、上豊富地区の「近年の災害」・「災害時に役立つ身近なグッズ作り」について、市危機管理室、社会福祉協議会の職員さんを講師に各地区的状況を踏まえた講義をして頂きました。

十一月に行われた地区文化祭での共催の「ふれあい餅つき大会」は、地元の大勢の参加者と、地区外からも多くの方に参加して頂き、各団体のご協力のもと、子供から高齢の方まで楽しい世代間交流の場になったことと思います。

年明けの「ふれあい給食」では紫豊館、いずみ会の皆さんのご協力により心のこもった給食をひとり暮らし高齢者等の皆さんにお届けすることが出来ました。

また、ひとり暮らし高齢者・寝たきり高齢者の方を対象に「あったか訪問」として冬場にカイロを持って訪問し、困りごと相談等を行いました。後になりましたが、委員の皆様をはじめ、多くの地元関係者の方のお力添えにより諸事業活動が成り立っていることに厚く感謝申し上げます。

上豊富地域年齢層別人口

令和2年3月末現在

	奥榎原	口榎原	石場	茅ノ台	辻	北山	畑中	甘栗	樽水	談	法用	小牧	下戸	合計
0～14歳	5	14	5	129	9	4	15	9	21	0	0	4	0	215
15歳～19歳	8	9	6	45	2	4	10	3	2	1	0	2	1	93
20歳～64歳	65	113	51	305	13	27	106	48	34	33	11	28	17	851
65歳～74歳	40	35	22	17	11	10	32	17	24	15	8	17	5	253
75歳以上	60	48	38	14	6	23	32	29	28	18	7	17	6	326
合計	178	219	122	510	41	68	195	106	109	67	26	68	29	1738
65歳以上	100	83	60	31	17	33	64	46	52	33	15	34	11	579
高齢化率 (%)	56.2	37.9	49.2	6.08	41.5	48.5	32.8	43.4	47.7	49.3	57.7	50	37.9	33.3
茅ノ台を除いた高齢化率 (65歳以上548人・12地区人数1,228人)														44.6